

令和6年度 シラバス兼授業計画書

学科名	未来観光ビジネス学科	科目名	ホスピタリティⅡ 国際プロトコール・各国文化とインバウンドへのおもてなし		
授業種類	講義	履修区分	必修	履修時期	通年
授業時間	60単位時間	担当教員	酒井智昭		
授業 内容	《授業概要》				
	<p>お仕事の間でも、プライベートでもホスピタリティ溢れる対応が出来れば、そのステージにいる方々は幸せな気持ちになれます。しかし、「ホスピタリティ」という言葉は知っていても、それを理論的に正しく理解したうえで実践している人は少ないのが現状です。</p> <p>そこで、ホスピタリティⅠからⅣでは、ホスピタリティについて様々な角度からアプローチして、履修する学生をホスピタリティの専門家レベルまで引き上げます。</p> <p>本授業（ホスピタリティⅡ）では、主にインバウンドへの接遇を学びます。授業内のロールプレイングについては英語版も組み込んでいきます。また、VIP級ゲストへの接遇に必要な国際プロトコールの学修についても時間をかけていきます。将来学生が海外でホテルをはじめホスピタリティ産業に従事することにも備えた学びです。</p>				
授業 内容	《学習の到達目標》				
	<ol style="list-style-type: none"> 1 インバウンド接遇に必要な各国文化の知識を理解することが出来る 2 インバウンドの接遇において、各文化を理解した上での個別対応が出来るようになる。 3 高度、且つ慎重を要するVIPゲストへの接遇について学修できる。 4 マナープロトコール検定2級の受験レベルに到達する。 				
授業計画					
前期			後期		
1	プロトコールの基本と誕生	16	プロトコールが必要な国際行事		
2	国賓の接遇様式	17	国際カンファレンスへの参加とマナー		
3	インバウンド接遇英語レッスン①	18	世界の主な宗教と宗教別葬祭の儀礼		
4	国旗の基礎知識①	19	世界の主な言語圏		
5	国旗の基礎知識②	20	近隣諸国と日本の文化		
6	インバウンド接遇英語レッスン②	21	プロトコールに役立つ世界各国の基本情報		
7	席次と敬称①	22	日本のアイデンティティ		
8	席次と敬称②	23	実習前ロールプレイング①		
9	インバウンド接遇英語レッスン③	24	実習前ロールプレイング②		
10	正装と勲章	25	ホテル内インバウンド接遇実習①		
11	インバウンド接遇英語レッスン④	26	ホテル内インバウンド接遇実習②		
12	招待状と賞状	27	ホテル内インバウンド接遇実習③		
13	英文による文書作成	28	ホテル内インバウンド接遇実習④		
14	所作・振る舞い	29	ホテル実習の総括とレビュー①		
15	会食のプロトコール	30	ホテル実習の総括とレビュー②		
前期試験			後期試験		
教科書 参考書	マナープロトコールの基本（財団法人日本ホテル教育センター） 外客接遇の基礎（財団法人日本ホテル教育センター）				
成績評価	前期試験と後期試験（ともに100点満点）を70% 平常点（課題など）を30%（主に英語でのロールプレイングから評価します）				
履修上の留意点	☆復習は教科書やノート、配布プリントを中心に、また授業で扱った英語は完全に覚えこむようにして下さい。 皆さんは私生活で「接客」を受ける機会が多くあると思いますので、関心を持って観察して下さい。 ・企業実習との関係で授業計画（進度）の入れ替えを行う場合があります				